

しあわせ
づくり
指標50の
状況報告

昨年9月に平成27年度までの10年間の津山市のあり方、目指す姿を描いた「しあわせ大國つやま」津山市第4次総合計画を策定しました。

平成18年度には、勝北地域統合保育所建設事業の着手や一宮小学校増築事業、木質ボイラー導入事業、防災・災害情報メール配信事業など様々な事業に取り組んできました。平成20年度までの前期実施計画の中で、具体的な目標として50の指標を定めましたが、平成18年度末の状況を取りまとめましたのでお知らせします。

なお、下表の状況欄の矢印は平成17年度との比較を表しています。

指標名	平成17年度	平成18年度	状況	平成18年度の取り組み状況など
ファミリーサポートセンターの会員数	607人	703人	➔	ファミ・サポの活動と会員募集の広報の仕方を工夫
一時保育の実施保育所(園)数	10ヵ所	11ヵ所	➔	市立久米保育所で一時保育を開始
放課後児童クラブの開設数	21ヵ所	22ヵ所	➔	市内全域対象の「放課後児童健全育成センター」を開設
基本健診受診率	48.4%	50.5%	➔	周診票の各戸配布による健診の啓発
胃がん検診受診率	44.4%	43.0%	➡	平成19年度から内視鏡による検診も実施する
子宮がん検診受診率	23.8%	23.5%	➡	検診啓発パンフの配布など周知に努めたが減少
地域包括支援センター相談件数	0件	27,711件	➔	初年度であり予想を上回る相談があった
療育事業相談件数	213件	297件	➔	総合的な相談受付、各方面への技術提供・指導を実施
小・中学校の校内LAN整備率	46.0%	100%	➔	全小中学校の校内LANの主要配線整備を終了
小・中学校の耐震診断実施率	16.0%	39.6%	➔	優先度調査の結果に基づき計画的に診断実施
小・中学校耐震化率	47.0%	51.8%	➔	耐震診断の結果から改修設計を実施
審議会での女性委員参画率	24.0%	24.2%	➔	機会あるごとに各担当課へ女性委員の登用について周知
公民館の利用者数	260,860人	251,311人	➡	中央公民館の解体などのため減少
図書館利用者数	128,314人	139,406人	➔	開館日数の増加や開館時間の延長などを実施
文化センター、文化ホール利用者数	209,832人	209,437人	➡	民間利用者の減少や学校の夏期合宿利用がなかった
スポーツ施設の利用者数	605,363人	623,000人	➔	体育施設予約システムの更新や、用具・施設改修を実施
市立博物館、資料館利用者数	13,411人	11,401人	➡	特別展や小中学校の総合学習の利用が少なかった
日本語教室参加者数	1,033人	842人	➡	日本語・英語を含む多言語での啓発に努める予定
認定農業者数	205人	191人	➡	関係機関などと連携し取り組んだが、高齢化などで減少
集落営農組織数	11件	15件	➔	関係機関などと連携して組織化を図った
ほ場整備率	80.0%	81.0%	➔	平成19年度堀坂地区完了予定
森林災害復旧面積	360ha	579ha	➔	風倒木の処理、植林作業を継続中
津山総合流通センター企業立地率	27.8%	32.0%	➔	光ファイバー設置などで誘致の促進を図る
市内事業所の製造品出荷額	2,059億円	-	-	現在、製造品出荷額を国において集計中
つやま産学官夢プラザ会員数	80会員	83会員	➔	平成18年度は3会員増加
U・I・Jターン相談件数	64件	89件	➔	東京・大阪のガイダンス会場に職員を派遣
主要観光地の観光客数	62万人	52万人	➡	さくらまつり期間中の天候が影響
津山観光センターの来客数	44,637人	42,537人	➡	さくらまつり期間中の天候が影響
河川水質の環境基準達成率	100%	100%	➔	汚水処理施設の整備により水質が改善
ISO14001等認証事業者数	22事業者	27事業者	➔	事業者向けISO14001セミナーを実施
子どもエコクラブ加入者数	102人	110人	➔	環境基本計画に基づく、啓発と加入促進を図る
一般廃棄物総排出量	34,570 t	34,807 t	➡	生活系ごみが減少した反面、事業系ごみが増加
一般廃棄物のうちリサイクルされた率	21.8%	22.5%	➔	青空リサイクルプラザの増設や集団回収量の増加など
汚水処理施設整備率	44.6%	46.4%	➔	ほぼ予定どおり進捗中
騒音の環境基準達成率	66.7%	77.8%	➔	自動車騒音により環境基準未達成地域あり
公害等苦情件数	111件	109件	➡	生活型苦情が増加
建築物の耐震診断件数	3件	2件	➡	広報などによる啓発を実施
自主防災組織数	30団体	37団体	➔	広報への掲載や出前講座、自主防災講座などを実施
自主防犯組織数	48団体	68団体	➔	町内会を中心に組織の結成を推進
刑法犯罪発生件数	1,862件	2,164件	➡	広報啓発活動を実施したが件数が増加
交通事故発生件数	1,173件	1,105件	➔	広報啓発や交通安全教室を実施
国土調査実施済率	96.1%	97.6%	➔	平成22年度完了に向け、順調に進捗中
都市計画道路整備率	55.2%	55.2%	➔	計画通り整備進行中
バリアフリー整備率(あんしん歩行エリア内)	48.0%	52.9%	➔	計画的に推進中
市ホームページ年間閲覧者数	439,586人	504,000人	➔	内容の充実、画面のリニューアルを実施
NPO法人数	23団体	32団体	➔	つやまNPO支援センターとの連携で設立促進
市税の収納率	89.5%	91.1%	➔	国税徴収経験者のアドバイスや特別滞納整理期間を設置
経常収支比率	90.4%	96.6%	➡	交付税の減額や比率算出方法の一部変更なども影響
実質公債費比率	18.1%	20.0%	➡	交付税の減額や比率算出方法の一部変更なども影響
津山圏域勤労者互助会の会員数	4,144人	4,110人	➡	団塊の世代の退職者増と業績低迷などが要因

市政アドバイザーからの
津山への提言



株式会社クリエイティブネクサス
チーフプロデューサー 井上啓子さん(東京都)

今回は、テレビのドキュメンタリー番組を制作している井上啓子さんから提言をいただきました。

津山は優しい町ですか？

東京でテレビ番組の制作をやっている私が今、どうしてもやりたいドラマ企画があります。テーマは「介護殺人」。関西で起こったある殺人事件の実話を元にしたドラマです。被告は50代の男性。息子は、長い間たった一人で認知症になった母の介護を行っていました。やがて母の病状の悪化に伴い、仕事をすることすらできなくなっていました。そして貯金も底をつき、ついには母と無理心中するという道を選んできました。

無理心中をすると決めたその日、息子は母を連れて生まれ育った町を歩きます。そして夕暮れの河原。「すまん、すまん」と涙を流す息子の

気持ちを察した母は「わしの子や。お前はわしがやった」と抱き締めました。その姿を見て覚悟を決めた息子は母を殺め、後追い自殺を図りますが、通行人に発見され、一命を取り止めたのです。

●いのうえ けいこ 昭和40年津山市生まれ。津山高校卒業、日本大学芸術学部卒業。現在、株式会社クリエイティブネクサスチーフプロデューサー、おかやま晴れの国大使。日本テレビ「突然!妻が痴ほう症になった」で郵政大臣賞受賞・民法連優秀賞受賞。ギャラクシー賞個人賞受賞など受賞多数。

だより

9月2日に阿波グラウンドを主会場として「阿波地域防災の集い」が開催されました。

今年3月に発足した阿波地域防災・防犯会のほか消防団阿波方面隊や地域住民など約200人が参加しました。訓練では非常時の情報伝達や避難の方法を確認し、消火器・消火栓を使った初期消火やAEDの使用、応急手当、炊き出しなど多様な訓練を行い、万一の事態に備え、防災への心構えを肌で感じました。



阿波地域防災の集い
万一の事態へ備えて訓練

久米支所
人権・教育・子育て講演会
子育て・人権について一席

8月27日久米公民館で、青少年の健全育成を目的に、津山っ子を守り育てる市民の会久米ブロックなど久米地域の4団体合同による「人権・教育・子育て講演会」が開催されました。講師に落語家の笑福亭松枝さんを迎え「『もったいない』で考える、人のあり方、社会のあり方」と題して講演。1人ひとりが自分のことだけ考えず、子どもたちの手本となり、ルールやマナーを守ることが大切であるとユーモアたっぷりに話し、約150人の来場者は、笑いの中から教育・子育てについて学びました。

